Press Release

大正大学
TAISHO UNIVERSITY

発信 No.2026－25
2026 年 11 月 24 日
学校法人 大正大学

『令和８年度 成道会』を 12 月２日（水）に開催
テーマは「伝灯－100 年先へ祈りを込めて―」

大正大学（学長：神達知純、所在地：東京都豊島区）は、2026 年 12 月２日（水）に『令和８年度 成道会（じょうどうえ）』を開催します。

「成道会」とは、お釈迦様が悟りを開かれたことを讃えて執り行われる法要のことです。本学では授業の一環として、仏教学部の学生が主体となって開催し、企画・運営・実施の視点やその技法を学びます。

今年度のテーマは『伝灯-100 年先へ祈りを込めて-』。テーマにある「灯」には、お釈迦さまが説いた「教え」と 本学が 2026 年 11 月５日（木）に創立 100 周年を迎えた中で、先人たちから受け継いできた「想い」という、二つの意味が込められています。これまで受け継がれてきた「教え」と「想い」を未来へとつなぎ、次の 100 年へと伝えていく願いを「伝灯」という言葉で表しています。

当日は、醫王山東光院眞性寺から大正大学までを雅楽部や法螺貝の音とともに練り歩く「お練り」や本学設立四宗派（天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗）及び時宗の学生による合同法要、お釈迦様が食したとされる乳粥や冷えた身体を温めるほうじ茶の提供などを行います。視覚・聴覚・味覚を通して、仏教への興味・関心を持つ一歩となる機会を創出します。



令和８年度 成道会ポスター





「令和７年度 成道会」の様子

【本件のポイント】

① 大正大学では2026年12月2日（水）に『令和８年度 成道会（じょうどうえ）』を開催します

② 醫王山東光院眞性寺から大正大学までを雅楽部や法螺貝の音とともに練り歩く「お練り」や本学設立四宗派（天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗）及び時宗の学生による合同法要、お釈迦様が食したとされる乳粥や冷えた身体を温めるほうじ茶の提供などを行います。

③ 成道会を通して、視覚・聴覚・味覚を通して、仏教への興味・関心を持つ一歩となる機会を創出します

■開催概要

日程：2026年12月2日（水）
時間：11：00　～　お練り開始（醫王山東光院眞性寺から大正大学）
　　11：30　～　受付開始
　　学生企画（乳粥、ほうじ茶の提供、書道研究部、いけばな同好会の作品展示）
　　12：20　～　法要開始（大正大学３号館前）※雨天時８号館４階礼拝ホール
　　13：00　　終了

◆仏教学部

仏教学専攻、仏教文化遺産専攻、宗学専攻の３専攻制です。設立四宗派（天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗）及び時宗の教理や歴史、教化・伝道などを、多岐にわたって総合的に学べます。また、人間や社会についての教養などを身につけられるのも特徴です。仏教学を学ぶ各国の留学生との交流も盛んで、国際的・文化的視野を広げることができます。

◆大正大学

大正大学は、設立四宗派の天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗および時宗が協働して運営する大学です。その協働の精神を支えているのが、大正15（1926）年の創立時に掲げた「智慧と慈悲の実践」という建学の理念です。「智慧と慈悲の実践」は仏教における菩薩の生き方を表したもので、菩薩とは「自らの修行の完成と衆生の救済を志す人」を意味します。本学では、このような理念の下に〈慈悲・自灯明・中道・共生〉という仏教精神に根ざした教育ビジョン「4つの人となる」を掲げています。これまでの歩みを礎に、2026年の創立100周年を「第二の開学」ととらえ、さらなる教育研究活動を展開しています。
公式ウェブサイト：https://www.tais.ac.jp/

●取材に関するお問い合わせ

大正大学・法人運営推進室（広報担当）
取材依頼はこちらからお願いいたします：https://www.tais.ac.jp/user/press/
電話：03-5394-3025（直通）　E-mail：kouhou@mail.tais.ac.jp